

## 『六種の神器』 エペソ人への手紙6章10-18節 2019.2.17 聖日礼拝説教より

『悪魔の策略に対して立ち向かうことができるために、神のすべての武具を身に着けなさい。』 エペソ人への手紙6:11  
この世で「関係」が壊される時、その背後に悪の働きがある。神が下さる「六種の神器」は、神の子らの生きる姿勢を正してくれる(Ⅱテモテ 3:1-5)。

❶ 神の六つの武具…❶真理の帯…嘘偽りなく、変わることなく裏切ることがない「真理」であるイエス様を腰に結ぶ時、神が何を喜ばれ、何が嫌いかを瞬時に知る。嘘や誤魔化しが大好きな悪魔は、私たちに自分の都合を優先させるが、主の真理の言葉を身に帯びれば、なすべきことを優先できる！❷正義の胸当て…神の子に最も大切なのは、神の目に義とされたこと。主の贖いを信じた時、この汚れた者が、神の前に聖なる者と見なされる。そこから本当に聖い者への歩みが始まり、栄化(救いの完成)に向かう！悪魔は、神の子が弱さゆえに罪を犯した時、どんなに小さくても見逃さず「それでも神の子か」と中傷する！その時私たちは怯まない「そうだよ。それでも神の子だよ！私のために死んで、甦って下さったお方がいるから」！自分の弱さを認めつつも「わたしの目に、あなたは高価で尊い。愛している」との御声を聞き続ける。この喜びを胸に悪魔に圧勝し、その御声が御国への旅路を守る。❸平和の福音の靴(イザヤ 52:7)…神の子は、どこでも誰にも神の平和を告げる。何故なら、世が病み、苦しみ、平和を失っているから。どこに希望があり、どこに救いがあるかを知るのは、この方を知る者だけ！❹信仰の大盾…「悪い者が放つ火矢(6:16)」は、万一心に刺されれば燃え上がる。疑い・憎しみ・怒り…の火矢が放たれても、神(大盾)に身を避ければ安全。「安心していなさい(ヨハネ 16:33)」。❺救いのかぶと…悪魔は、私たちが考え、感じ、判断する、その「頭」に思いを入れて生活を支配しようとする。油断することなく自分の心(思い)を守ろう(箴言 4:23)。全ての考えを、救いの喜びと平和で満たし、照らされ正されたい。❻御霊の剣…神の言葉は、他の全ての武具と連携する。私たちは、御言葉を通して真理(であるお方)を知り、義とされ、平和の福音を伝え、信仰を燃やされる！御言は悪魔を一撃で退散させ、私たちの心の悪と汚れをえぐりだす「両刃の剣」！

❷六種の神器はワンセット！(6:11,13)…「神のすべての武具をとりなさい」。悪魔はスキを狙い打つ！

★クリスチャンにオフはない。日々御言葉を握りしめ、救われた喜びと感動を忘れず、神を味方にして悪に圧勝しよう！